

mazdutide、第3相試験で10%以上の体重減少を確認

中国北京大学人民医院は、GLP-1 受容体とグルカゴン受容体に対する共作動薬で、2 型糖尿病と肥満の治療薬として開発されている mazdutide を、中国の過体重または肥満患者に 48 週間投与する第3相臨床試験を行ったところ、32 週目の評価でプラセボ群に比べ、10%以上の体重減少と代謝改善が認められたと報告しました。